

### 3. 1 小学校 1・2年生 (1) 指導の概略

#### I. 地震・津波を知る C. 避難の必要性を知る

指導する学年	小学校1年生	指導する時間	特別活動 (学級活動)	指導する時数	1時間
目 標	津波とはどのようなものかを知り、すぐに避難しなければならないことを理解する。				
使用する資料	【動画-01】2004年インド洋津波(海岸到達の様子) 【動画-02】2004年インド洋津波(瓦礫が流れる様子) 【書籍-01】津波!!命を救った稲むらの火 【地図-01】学区の地図 【print-11】津波の恐ろしさ等				

#### 1. 導入

- (1) 大きな地震があったときの被害について話し合う。
- (2) 学習課題を把握する。

#### 2. 展開

- (1) 津波とはどのようなものか知っていることを話し合う。
- (2) インド洋津波の映像を見て、気付いたことを話し合う。

【動画-01】2004年インド洋津波(海岸到達の様子)[2:10]

【動画-02】2004年インド洋津波(瓦礫が流れる様子)[0:32]

- (3) 津波から命を守るために避難することが大切であることを確認する。
- (4) 学区の地図を使って、大きな地震があったらどこに逃げたらよいかを確かめる。

【地図-01】学区の地図 ※学校で作成した安全マップなどでも可

- (5) 津波に関する話の読み聞かせをして、避難の大切さを確認する。

【書籍-01】津波!!命を救った稲むらの火

#### 3. まとめ

- (1) 学習して気付いたことをプリントに記入する。
- (2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。

【print-11】津波の恐ろしさ等

#### 4. 確認

- (1) 津波とは、町が壊滅的な被害を受けてしまうほどの恐ろしいものであることを知る事ができたか？
- (2) 津波が来たら、高い場所にある避難場所に避難する必要があることを知る事ができたか？

関連する  
教科・行事等

【行事】避難訓練

## 3. 1 小学校 1・2年生（1） 指導の注意点

### 1. 導入

- (1) 大きな地震があったときの被害について話し合う。
  - 子どもたちに発表してもらおう
  - 発言の中から「大きな地震の後には、津波がおこる可能性が高い」ことをおさえる
- (2) 学習課題『つなみについてしろう。』を把握する。

### 2. 展開

- (1) 津波とはどのようなものか知っていることを話し合う。
  - 子どもたちに津波について知っていることを発表してもらおう
- (2) インド洋津波の映像を見て、気付いたことを話し合う。
  - 子どもたちに映像を見て気付いたことを発表してもらおう
  - 発言の中から「避難の必要性」をおさえる
  - 【動画-01】津波によって簡単に人が流されてしまったことをおさえる
  - 【動画-02】津波によって街中に瓦礫が流されてくることをおさえる
- (3) 津波から命を守るために避難することが大切であることを確認する。
- (4) 学区の地図を使って、大きな地震があったらどこに逃げたらよいかを確かめる。
  - 学校から一番近い避難場所と、各自の自宅から一番近い場所を見つける作業をさせる
  - それらの避難場所はどのような場所にあるのかについて話し合う（高い場所にあることを確認する）
  - 避難場所などの標識を提示し、それぞれの意味を確認する
  - ※学校が避難場所という場合もあるので、実態に応じた展開を工夫する
- (5) 津波に関する話の読み聞かせをして、避難の大切さを確認する。
  - 津波から命を守るためには、早く高いところに避難することが必要であることを確認する。

### 3. まとめ

- (1) 学習して気付いたことをプリントに記入する。
- (2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。
  - 津波から命を守るためには、早く高いところに避難することが必要であることを確認する。



【動画-01】[2:10]  
2004年インド洋津波（海岸到達の様子）



【動画-02】[0:32]  
2004年インド洋津波（瓦礫が流れる様子）



【地図-01】学区の地図  
（例：Yahoo!地図より引用）



【書籍-01】  
津波!!命を救った稲むらの火